

予算審査特別委員会 審査報告

審議結果

【原案可決】

- 議案第43号
- 議案第44号
- 議案第45号
- 議案第46号
- 議案第47号
- 議案第48号
- 議案第49号

※各議案の案件名は、3ページ掲載の一覧をご覧ください。

令和4年度の各会計予算議案7件を審査するため、予算審査特別委員会が設置されました。委員会は、議長を除く全議員で構成し、北田守委員長、深沢誠副委員長が選任され、3月7日・8日の2日間開催しました。市長および関係部長等から説明があり、慎重審議の結果、付託された7議案すべて原案のとおり可決すべきものと決しました。

質疑要約

●人口減少対策・子育て支援

問 三代同居等支援事業を前年度より増額計上した理由は。

答 この事業は、子育て世帯が親世帯と同居または近居するための住宅取得に係る費用を補助する制度で、移住定住の推進や子育て支援を実施する事業であり、1世帯あたりの補助上限額を75万円とする補助金15件分を計上しました。

令和3年度補助実績見込みが約10件となることから、前年度と比較して5件分の増額を予定するものです。

●産業・観光の振興

問 美しい海水浴場次世代継承事業に計上されている工事請負費の内容は。

また、コロナ禍で市内海水浴場が開設できていない中でブルーフラッグ認証取得について、市の見解は。

答 バリアフリーな環境づくりを目指し、車椅子等でも移動しやすいよ

う、本須賀海水浴場にウッドロードを整備するための費用を計上しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、二年間、海水浴場を開設できていませんが、引き続き、環境保全活動に積極的に取り組み、その象徴として、国際環境認証ブルーフラッグの更新取得を目指したいと考えます。

●教育の充実

問 教育情報機器管理事業に計上されているデータセンター使用料の概要は。

答 市内小中学校の教員が使用する「校務支援システム」運用のためのデータ使用料等必要経費を計上しています。

本市では、クラウドサーバーによるシステムを導入しており、運用コストを考えると、決して安価なものではありません。

しかし、クラウド化による情報セキュリティの確保や教員の働き方改革等への有効性は非常に高いものであると考え、予算要求するものです。

各会計の予算規模

区 分		令和4年度	令和3年度	対前年度
一般会計		237億円	238億5600万円	-0.7%
特別会計	国民健康保険 事業勘定	64億7126万円	62億5398万円	+3.5%
	直営診療施設勘定	6300万円	1億1300万円	-44.2%
	後期高齢者医療	6億6130万円	6億3980万円	+3.4%
	介護保険	50億9500万円	50億3800万円	+1.1%
	地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理	29億3504万円	3億4641万円	+747.3%
	組合立国保成東病院事業清算事務	0円	6200万円	皆減
	農業集落排水事業	2億9540万円	2億8320万円	+4.3%
企業会計	水道事業	5億7461万円	5億8227万円	-1.3%

※各会計予算の概要については、広報さんむ5月号(6～7ページ)をご覧ください。



審査報告をする北田委員長